

自殺関連行動を呈して救命救急センターにて治療を受けた方に関する研究 のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年4月3日～2021年12月31日

〔研究課題〕 自殺関連行動を呈して当院救命救急センターにて治療を受けた患者についての精神医学的検討（その1）：自殺の報道と自殺関連行動発生との時間的関連

〔研究目的〕

自殺未遂や自傷行為などの自殺関連行動を呈する人は、自殺に至る危険があり、十分な精神医学的ケアを必要とする状態にあると考えられます。その発生を予測し防止するため、これまでにさまざまな要因についての検討が行われてきました。本研究では、当院救命救急センターにて精神科治療を受けた自殺行動患者を対象とする診療録調査から、自殺関連行動と自殺の報道との関連を明らかにすることが試みられます。

〔研究意義〕

本研究から得られる所見は、自殺関連行動の発生契機や自殺関連行動を誘発させない報道のあり方についての検討に有用な資料となることが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2009年8月1日から2019年1月31日までの期間に当院救命救急センターから当科に診察依頼（コンサルテーション・リエゾン診療）がなされた自殺未遂や自傷行為などの自殺関連行動を呈した患者を対象として臨床的データ、自殺関連行動の状況などについての診療録に基づく調査が行われます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科（精神神経科学講座）

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の取り扱いでは使用データを匿名化し、統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。データの保管や廃棄も含めて、研究の全ては本学の倫理委員会の審査を得て行われます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：精神神経科学講座 主任教授 林 直樹

研究分担者：精神神経科学講座 助教 金田 渉

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211（代表）〔内線 33710 〕